



協創 よりよいものを
創りあげる子

協助 思いを
伝え合える子

協動 主体的に
挑戦する子

誠 をもって貫き

愛 をもって接し

勇 をもって行う

重点目標 **勇気と優しさ**とわたし ～日本一楽しい学校～

重点目標 **踏み出す私** 高めあう仲間

学力向上・学びの連続性

9年間のつながりを意識した授業を展開し、めざす子ども像を目指します

子どもたちが楽しい
と思える授業

「わかりやすい授業を展開し、「確かな学力」
「主体的に考える力を身につけます。
○学習のルール(発表、話し合い、聴き方の
約束)の統一

○合同研修会(1年目の目標; 分かり合う)
・ 普段授業の参観(中学; 初任、若手; 週1)
・ 道徳授業の参観
※授業参観; 小学校→中学校はできる範囲で

○乗り入れ(音楽; 中学→4,5,6年生)
○6年生の中学校体験授業(年2回実施)
○特別支援学級の交流(農園活動; 毎週火曜日)
○アースランチコンテスト

育ちをつなぐ

「共通の生活の約束」

子供たちの夢を育み、生き方を支援するキャリア教育を推進します

子どもたちの持っているよさ
(勇気と優しさ、誠実)が輝く

◎9年間を通して、子どもたちに主体的に考える力を身につけさせます⇒・児童会、生徒会活動(自治活動)・いじめ防止宣言(小中共有)引き渡し
◎郷土を愛する心を育みます⇒「牧之原のひと・もの・こと」を学ぶ・キャリア教育「起郷家」「行事の合同実施」「小中生活交流(グリーンベルト)」

身につけ
せたい力1

表現力
の育成

伝え合う力を育成するために「話し合い活動」を積極的に取り入れます。自信を持って表現できるように子供ファーストで考えます。

- ・自分からあいさつや返事をする。
- ・話をわかろうとして聴く

- ・自らやるべきことを見つけ積極的に取り組む
- ・自分の特性に気づき、自分らしさを発揮する。

- ・自分の考えを相手がわかるように伝える。
- ・目標達成に向けて粘り強く取り組む。



身につけ
せたい力2

コミュニケーション
の伸長

「互いに高めあう人間関係(協力平の精神)」を育成するために、グループ・班・学級・学年活動、縦割り活動、小中合同活動を充実させます。

- ・ありがとう、ごめんなさいを言う。
- ・係活動に取り組みその大切さがわかる。

- ・相手の意見を聴き、協力して物事に取り組む。
- ・思いやりの気持ちを持ち他者の立場で考え、行動する。

- ・自分と周囲の人や物事との関係性を理解し、行動を選択する。
- ・仲間とより良い解決策を検討しながら、課題解決に取り組む。



コミュニティスクールの
推進(地域・学校)

子どもたちの夢が
溢れる

<CS 設置を意図した学校評議員会>

- ・小中共通の評議員
- ・学校支援サポーター → **CS ディレクター**
- ・小中共通の教育方針(重点目標)

学校支援地域本部

- 学校支援コーディネーター
- ・ボランティア派遣
- ・ボランティア交流会
- ・輝楽さん



地域

<協力平サポーター>

祖父母の会

学習支援

企業

読み聞かせボランティア

農業体験
苺、自然薯等

見守りボランティア

教育後援会

